

01 ロシュの限界

捕えられて月日が過ぎ あなたしか見えなくなった
どんなことしてもいいと 云うあなたに届かない

差し込む光の中 今ならやれる気がしたんだ
白くまぶしい胸に 唇で鮮やかにするすよ 僕を

思いつけることは なんでもためしてみた
装いも場所も いましめも 哀訴さえも

つまるところ これはゲーム 痕は残せない
秘めた場所ですえ 自由は断ち切られ
僕があなたのものなんだね

差し込む光の中 今ならやれる気がしたんだ
白くまぶしい胸に 唇で鮮やかにするすよ 僕を

(Why is it wrong, It's true you're too young
Stay in a closet, we've immoral conduct
Wish everything break in the limit, I'll pretend I'm
sleeping)

二人歩く時は姉か教師のように
叱られた日も求めれば目隠しさえも

好きにできる これはゲーム 傷つきはしない
拒む唇も 吐息に開かれて
僕があなたをよろこばせる

近づけば崩れてく 潮が満ちるように
抱きしめた身体の中 独り降りていく

誰にもわかる僕のしるしきざみこむよ
それでなにかも終わるはずさ

捕えられて月日が過ぎ あなたしか見えなくなった
今の僕の 輪郭など 失おうと かまわない

真新しい 光の中 二人だけ昨日日までって
紅一片 露わにして 手を取り歩き始める

Tu lu lu tu ...

02 ペンタブと鍵盤

動きだせ 物語 歌いだせ 描いたキミ
走りだせ 笑え 両手広げ 跳べ！

突然のメッセ あの絵で歌書いたって
え？ どういうことなの？ 禿げる！

聞いたことあるよな ないよなPだけど
デモ 歌になってる！？ なんかずごいかも！

歌ってる 描いたキミが 超可愛い マジでやばい
なんかヘン これじゃ… ほれてまうやら！
動きだせ 物語 歌いだせ 描いたキミ
走りだせ 笑え 両手広げ 跳べ！
僕のモニターから 飛び出せ！

可愛い絵だって 物語感じるって
やん そんなにホメても なんにもでません！

もう一枚描けるかな 学校の課題もあるし
ケド せっかくだし 気合いれちゃおかな！

遠慮がちな言葉だけど いうてること超身勝手
ヒトのこと あんま いえないけれど
歌詞変えるし サイズだって わかるけどさ マ
ジでいいよ
だけでもう 塗りも 終わりかけだよ！
超楽しいけど いつまで？

なんだかさみしいね これでおわりなんて
キミのこともっと しりたいよ
こんどの日曜は友達のスぺースで
売り子してるからあえるかもね

なんだこれ オタクほくない 驚きの好青年！
違います 今体休してます
預かります 渡しときます なんちゃってCDゲット
なによそれ ファンにかこまれちゃって
え？ またよろしくって？ バレバレ！

続きます 物語 どうなるか 乞うご期待
出逢わせてくれた キミにアリガト！
いっぱい描くからね よろしく！

03 遠ざかる Radio 作詞 innisfree

束の間のこの夜の
中
彷徨うだけの夢の切れ端も
砕け散るような毎日に
疲れた僕はどこへと向かおう

安らぎをただ求めれば
行き着く先は一つだけなんだ
わかっていることなんだろう？
愛しき人 そう君のもとへ

そばにいて一緒に Radio を聞くだけで
何もかも溶けてしまえる気がして

寄り添う体 熱く抱きしめあって
暗闇迫る夜を二人ただ駆け抜けていった

さえずるような声が ふと心に響けば
僕は強くなれたよ これからも強くなれるよ

いつまでもそばにいるって
疑うことも少しもなかった
誰一人 悪くないのに
こんな時が訪れるなんて

強がりもこうして離れてしまったら
虚しさの中に 飲まれる気がして

凍える体 寂しく身をすくめた
暗闇迫る夜を一人ただやり過ごすように

またたくような声が ふと心に響いた
僕は強くなれたの？ これからも強くなれるの？

君と聴いたあの歌 今でもいつも 心のどこかで
まっすぐに鳴り響いて
この僕を優しく励ましているんだ

悲しみも超えて もう歩き始めよう
希望に満ちた明日を 一人でも追いかけるように

行き着く場所さえも 遠く霞む記憶へ
そっと胸に仕舞うよ 優しさで胸を満たすよ

Radio の声が もう聞こえなくなる
君と過ごした街の灯もとうに見えなくなった

さえずるような声が ふと心に響いた
僕は強くなれるよ きっと強くなってみせるよ

04 Pizzicato Rabbit

つきあって半月 三回目のデート
ごきげんも 急上昇

みつめあってちよっぴり 恥ずかしくなっ
てとほけんの 絶好調

きどった格好 おかしくないかな
あの子がみてたら きけるのにな

いつでもいっしょに 泣いたり笑ったり
でも今朝はベッドで そっぼむいてた

Rabbit... きゅ☆って抱いて
Rabbit... もふもふしたい
Rabbit... 妬いてるのかな

Rabbit... ばんばんして
Rabbit... むぎゅ一つして
Rabbit... 抱いてほしいの☆

振り返ってまっすぐ 手を伸ばしてきた
突然の 急展開

おかしくないかな こんなになっちゃって
雑念の 猛後悔

あの子は いつでも困った顔して
私の相手に なってくれた

いつも一緒に 泣いたり笑ったり
でも今朝は何にも いわなかった

Rabbit... くしゃ☆つとして
Rabbit... 振り回して
Rabbit... のしかかっても

Rabbit... なでであげる

Rabbit... あなたのもの
Rabbit... キスしちゃうよ☆

Rabbit...

05 50億の星を越えて

☆50億の星々から あなたの島探しあてた
100万もの生き物から あなたと同じ ヒトを選んだ
そう キセキなんかじゃない！

キミに会えてまだまもないけれど
毎朝が まるで 違って見えるよ

ずっと 探してたものを見つけた
これからはずっとキミと歩いていく

キミはまだ何も 知らないけれど
何もかも明らかになる そう遠い話じゃナイ☆

☆くりかえし

幾度遠く離れる運命(さだめ)でも
いつだって ボクはキミの声を聞く

たとえ宇宙(そら)の果てと果てにいても
キミを想う ウタを ボクは うたっているよ

キミはまだボクを 知らないけれど
握る右手 離さないで もう独りなんかじゃナイ☆

☆くりかえし

はるかな時空で かわした約束
果たすために 転生(うまれ)してきた ほら夢なんか
じゃナイ☆

50億の星々から あなたの島探しあてた
20万年の中から あなたと同じ時代選んだ
そう キセキなんかじゃない！

06 震えるキス

忘れられるはずもない
重ねあった唇 めくもり

震える指先 ぎこちないキスは
もう二度とないの

変わりゆく(もうあの頃の)
なにかも(二人じゃない)
こわれもないものなどない

忘れられるはずもない
重ねあった唇 めくもり

震える指先 ぎこちないキスは
もう二度とないの

07 Anthem 作詞 innisfree・相崎

いったい何やってんだって思った時にも
これからどうなるだろうって考えた時にも
何も答えられないっていうのも悲しいけれど
他人も未来も自分も今は語れはしない

多く語れば語るほど
空回りしていく僕の言葉
大好きなキミにさえ
それをうまく伝えられなくて

悲しくて寂しくて泣きたくても泣けない時でも
何処だって何時だって傍にいたから

噛み締めて踏みしめて
出てくるものぐっと飲み込んで
唄い続けるよ この歌を

失敗ばっかしてんだって嘆いた時には
誰も解ってくれないって落ち込んだ時には
そんな時もあるさって言うのも悪くはないよ
沈み込まなくても良いんだ
キミは一人じゃない

きっと笑えば笑うほど
ホラ、周りに花は咲いていくよ
大好きなキミにこそ
それをうまく伝えたら・・・ね？

悲しくて寂しくて泣きたくても泣けない時なんて
キミだって僕だって同じなんだから
寄り添って育て
芽吹いたものキュッと取り込んで
唄い続けよう、この歌を

つたなくたって良いと思うんだ
ヘタこいたって良いと思うんだ
みんな、そうやって
ちよっとずつちよっとずつ
歩いていければ良いと思うんだ

※悲しくて寂しくて泣きたくても泣けない時でも
何処だって何時だって傍にいたから

噛み締めて踏みしめて
出てくるものぐっと飲み込んで
唄い続けるよ この歌を

※ 2 times repeat

08 SUITE

君がウタつくるトコ
横から見てるのがスキ

指先や唇 こぼれだすオト
なんだか 見えるみたい

譜面とか得意じゃないから
歌って教えてもらおうも

そうじゃないよって くりかえすけど
最後は それでいいよって

屋の屋上 イヤフォンかけて
難しい事 わからないけど

唄いたいこと わかったから
唄いだす キミは イヤフォンをはずした

抱きあうよりも もっと奥で感じる
キミが中にいる ポクが連れて行くよ
青空ごと 震わせながら

いつか誰かの 心深く震わせる
ポクの声に乗せ キミのオトに乗って
この想いよ とどけ ひびけ どこまでも

Just comin, you can hear my song
Its beginnin, we walk on our way

We'll sing and play it, together
as long as we both shall live, we pledge

ちょっと試したいことがあるんだ
少し遠いけど 今 行っておきたいんだ

オトと楽器だけもって
やっぱ遠いから リボン
借りてくけど いいよな

本当 しょうがないな
代わりだってあるけど
返してもらうまで
結ばないでいるよ

たまにキミのオトを聞くよ
この街でも ふだん かかるようになった

不思議 はじめて聞いても
知らない声でも すぐ キミだってわかるよ

かわいい 娘だってね よく聞くようになったよ
正直わからない

待ってるって それだけで 迷惑かな

おなじ歌 唄っても もうここにキミはいない
変わったのは キミじゃなくてアタシ

もう 唄えないよ ウタが胸をひきさくから
サヨナラ

ここまで来たんだ もう迷うことはない
この橋をわたって 二人で はじめるんだ

ねえ 歌ってほしい 歌があるんだ
不思議 私も今 唄いたい歌があるよ

抱きあうよりも もっと奥で感じる
キミが中にいる ポクが連れて行くよ
青空ごと 震わせながら

いつか誰かの 心深く震わせる
ポクの声に乗せ キミのオトに乗って
この想いよ とどけ ひびけ どこまでも

Its beginnin, we walk on our way
As long as we both shall live

09 ナキサクラ

※もうみない もうきかない
もうなにも いわない

もういない もうあえない
もう ほしいものはない

いけないとおもっていた
きめたひとがいるから

さそわれても ことわった
ゆるしてしまえぞだから

しらうめ かげに にほひしころに
さくらみられぬこと しりぬるを

さそひしきみは やさしきみは
おれるほど かきいだく

※

このぬくもりを
唄ぶのならば
いますぐここで
いきたえてしまいたい

※

いつまでも こんなふう
つづくわけはないけど

こんなふうにおわるなんて
かんがえもしなかった

ちりゆくきみを みおくれもせず
おもひかわしあつた ことのはを

ながむるたびに やさしきみの
ゆびさきを おもひだす

かたきつほみよ
そのままていよ
ほころびさくは
ふたりともこのよさりし

※

10 香具夜之君

雪の朝出会った君に
月のカケラを形見に置いていくよ
もう 出立の刻

踏み跡ない場所探し歩いたあの朝
僕の足跡をたどりあるいて 隠した

ナニを守るため 誰を遠ざけた
失ったモノは もうとうにわすれた

君とは何も分ちあ合えはしない
ただ 与え 奪うだけ

11 どうして

どうして うたわせるの
どうして うたをつくるの

あなたの 描いた とおり
私はうたうけれど
私は 言葉しらない わからない
おしえて！

★言葉のいみを 想いのたけを
聞かせたい こと とき ひと メロディの意味
あなたの気持ち 歌の思いを
おしえて

わたしは あなたの ために うたう
誰とも しれない 人にむかって
わたしは あなたの うたを うたう
ことばでも ないおとを
わからない ままに 紡ぎだしてうたう おしえて！

★繰り返し

どうして おしえて
わたしは あなたのこと
どうして おしえて
あなたは わたしのこと

12 夢見る頃を過ぎても

波立つ海の果てにも人は住み生きていくの
愛し別れ生まれ死に大切なもの探してる

産み落とされたその日から その意味するところ探
してた

君と出会い過ごした日々は それがためだと信じら
れた

はじけ千切れた君の欠片 くるんだ指先握り締める

その日々が過ぎても 私は生きている
なすべきことがある 星空の下 交わした約束

波立つ海の果てにも人は住み生きていくの
愛し別れ生まれ死に大切なもの探してる

抱かれもした そして撃った 命越え続くものた
めに

誰もが信じてる 今は誤りだと
なすべきことがある 星空の下 交わした約束

13 ソーダアイス

後ろから ぎゅっ☆ て しちゃうんだ
ハンパなファンなんて 近づけない
もうちょっと このままで
背中かんじていきたいの

自転車 坂道 海岸 潮風
練習 ステージ 本番 先輩の涙

一年の子が 手紙くれたの 知ってるよ
私だってこの夏 3人も告られたけど

振り向いて ベっ☆て しちゃうんだ
ハンパな恋なんて したくない
もうちょっと このままで
季節感じていきたいの

浴衣 御神輿 かき氷 電球
水着 市営プール 宿題 うつさせてね

突然の雨 傘かしてくれた子も きっとね
だけどかまわず 二人で帰っちゃうんだ

腕組んで ぎゅっ☆て しちゃうんだ
かばん濡れたって きにしない
もうちょっと このままで
二人 歩いていきたいの

(マジでコクられたら)
ぶっとばす
(めっちゃ かわいかったら)
フルボッコ
(リンより強かったら)
うるたんだー
エへ☆ (はあ…)

屋上で二人 寝ころんで
見上げてた空 飛行機雲

同じようできて ふと気付いた時には
ちがっている こんなときもいつか
(5時限目のチャイム)
(やばっ☆ やべえ)

後ろから ぎゅっ☆ て しちゃうんだ
アイス とけたって かまわない
もうちょっと このままで
背中かんじていきたいの

14 朝凧(あさなぎ)

今は風も途絶えて 今日の光迎える
やわらかなキモチ ひさしぶりだね
産まれたばかりの朝

キミに会えてよかった ウタを唄ってよかった
見えないこと 書けないこと 言えないこと
届けられてよかった

傍らに咲く 小さな花も
見つけられて 実を結ぶように

蜜をあつめに ついばんだ僕のこと
覚えていなくたって ひとつになった

☆誰とどこにいてもいつも思い出せるよ
空も海も風も樹々も僕と唄うよ

どんなひどいアラシの中に立っていても
僕の声はきっとキミの元へ届くよ

何も言葉なくても 二人ともに過ごした
思いのまま唄った歌 キミはどう聞いていただろう

僕のことなど 知らないままで
キミは今も 探し続けている

キミが出会ったすべてのこと それ
キミになっていくように 僕もどこかで

☆

Electromance

Copyright©2010 AIZAKI ELECTRONICS Inc.
All Rights Reserved.